

土木学会 景観・デザイン委員会 20 周年記念シンポジウム

「景観・デザインは日本を救うか？」 ー都市・地域の再生に向けて

今後 10-20 年で社会環境が大きな変化に直面するなか、人々の生活を支え、守り、豊かにする景観学と土木デザインのありかたが問われている。都市・地域に関わるさまざまな社会課題の解決に向け、景観とデザインはいかなる力となり得るのか。我々は、その拠り所となる思想、技術をどのように磨くのか。次の 10-30 年の社会のありかたを見据えつつ、景観・デザインが果たすべき役割や可能性について議論したい。

基調講演 10:50~11:50

中村良夫 東京工業大学名誉教授 / 前京都大学教授
「景観パラダイムの多元性について」

シンポジウム

第 1 部 景観・デザインを問い直す 13:10~13:50

「行政・実務者・学識者に聞く社会課題と専門知の役割」調査報告を通じて
景観・デザイン委員会 拡大幹事会、司会：西村亮彦（国土交通省 国土技術政策総合研究所）

第 2 部 デザインの未来 13:55~15:15

都市・地域デザインに向けた土木デザインの役割と課題
長谷川浩己（オンサイト計画設計事務所）、星野裕司（熊本大学）、福島秀哉（東京大学）

第 3 部 景観学と政策 15:30~16:50

まちづくりへとつながる景観学の可能性
柴田久（福岡大学）、宮脇勝（名古屋大学）、山口敬太（京都大学）
コメンテーター：脇坂隆一（国土交通省）

第 4 部 全体討議 16:55~17:45

景観・デザイン委員会 拡大幹事会

主催：土木学会 景観・デザイン委員会

2017 年 12 月 1 日（金） 10:40~ 18:00

**京都大学 国際科学イノベーション棟 5F
シンポジウムホール（吉田キャンパス）**

「景観・デザインは日本を救うか？」ー都市・地域の再生に向けて

今後 10-20 年で社会環境が大きな変化に直面するなか、人々の生活を支え、守り、豊かにする景観学と土木デザインのありかたが問われている。都市・地域に関わるさまざまな社会課題の解決に向け、景観とデザインはいかなる力となり得るのか。我々は、その拠り所となる思想、技術をどのように磨くのか。次の 10-30 年の社会のありかたを見据えつつ、景観・デザインが果たすべき役割や可能性について議論したい。

【日時】2017 年 12 月 1 日（金）10:40 開会 18:00 終了予定

【会場】京都大学国際科学イノベーション棟 シンポジウムホール（5 階）

【主催】土木学会景観・デザイン委員会

【プログラム】

10:40	開会の辞	北村 眞一 景観・デザイン委員会委員長,山梨大学特任教授
10:50	基調講演	
11:50	「景観パラダイムの多元性について」	中村 良夫 東京工業大学名誉教授/前京都大学教授

シンポジウム

13:00	趣旨説明	中井 祐 景観・デザイン委員会幹事長, 東京大学教授
13:10	第 1 部 景観・デザインを問い直す	景観・デザイン委員会 拡大幹事会
13:50	ー「行政・実務者・研究者に聞く社会課題と専門知の役割」調査報告を通じて	西村 亮彦 国土交通省国土技術政策総合研究所研究官 末 祐介 中央復建コンサルタンツ株式会社

拡大幹事会が実施したヒアリング・メッセージ・アンケート調査（対象者：行政、実務者、研究者）をもとに、これまでの成果を振り返るとともに、今日、そして今後 20 年で直面する社会課題や、“現場”で求められる役割とそのための専門「知」のありかたを探る。

13:55	第 2 部 デザインの未来	コーディネーター
15:15	ー都市・地域デザインに向けた土木デザインの役割と課題	福島 秀哉 東京大学大学院工学研究科助教
	土木デザインの現場では、造形や環境への適切な配慮と対策、行政の仕組みの理解に基づくデザイン・マネジメントに加えて、都市や地域社会のより深い洞察に基づいた広義のデザイン技術が問われ始めている。第 2 部では、これまでの土木デザインの概念、枠組みを整理した上で、社会への関与のあり方や、インフラに対する思想、景観学との接点を探るとともに、社会の転換期を見据えた、社会技術としてのデザインのあり方について議論する。	パネリスト 長谷川 浩己 オンサイト計画設計事務所パートナー 星野 裕司 熊本大学大学院自然科学研究科准教授

15:30	第 3 部 景観学と政策	コーディネーター
16:50	ーまちづくりへとつながる景観学の可能性	山口 敬太 京都大学大学院工学研究科准教授
	インフラ整備や景観形成に関わる行為を「まちづくり」の文脈に位置づけ、都市・地域の課題を解決するデザインとの接続もふくめて、トータルにマネジメントする社会のありかたについて、原論、計画論、マネジメント論を横断しつつ議論する。そのなかで、目指すべき景観政策のかたちやそれを実現する社会システム、その基盤となる景観学のあり方やその可能性について議論する。	パネリスト 柴田 久 福岡大学工学部教授 宮脇 勝 名古屋大学大学院環境学研究科准教授 コメンテーター 脇坂 隆一 国土交通省公園緑地・景観課緑地環境室 国際緑地環境対策官

16:55	第 4 部 全体討議	景観・デザイン委員会 拡大幹事会
-------	------------	------------------

17:45	閉会の辞	川崎 雅史 景観・デザイン研究委員会委員,京都大学教授
-------	------	-----------------------------

【参加費】無料

【CPD】土木学会認定 CPD の取得方法は土木学会のウェブページをご確認下さい。建設系 CPD 協議会他団体の CPD 単位への付与は各団体または建設系 CPD 協議会のウェブページをご確認下さい。CPD 登録に際して「CPD 申請書・受講証明書」に必要事項を記載の上、当日ご持参下さい。

【問い合わせ先】

土木学会研究事業課 担当：林淳二

E-mail: j-hayashi@jsce.or.jp TEL: 03-3355-3559

<https://www.jsce.or.jp/committee/lsd/conference/2017/sympo.html>

【基調講演者 プロフィール】



中村 良夫

1938年生まれ。日本道路公団を経て東京大学工学部助教授、1982年東京工業大学工学部教授、1998年京都大学大学院工学研究科教授を歴任。東京工業大学名誉教授。土木学会土木計画学研究委員会幹事長、同土木史委員会委員長、同景観・デザイン委員会委員長などを歴任。土木学会名誉会員。サントリー学芸賞、土木学会著作賞、同出版文化賞、国際交通安全学会賞、ユネスコ・メリナ・メルクーリ国際賞、土木学会功績賞など受賞多数。『風景学入門』（1982）をはじめ、『湿地転生の記』、『都市をつくる風景』他、著書多数。

【パネリスト プロフィール】



長谷川 浩己

ランドスケープアーキテクト。1958年千葉県生まれ。オンサイト計画設計事務所パートナー、武蔵野美術大学特任教授。千葉大学、オレゴン大学大学院修了後、米国での勤務等を経て現職。公園、広場、リゾートなどの作品多数。グッドデザイン賞、造園学会賞、土木学会デザイン賞最優秀賞など受賞多数、著書に『風景にさわる』（丸善出版）など。



柴田 久

福岡大学教授。1970年生まれ。東京工業大学大学院修了。博士（工学）。カリフォルニア大学バークレイ校客員研究員等を経て、現職。専門は景観設計、公共施設のデザイン、まちづくり。主な受賞に2014年度グッドデザイン賞、土木学会デザイン賞2014最優秀賞（警固公園）など。著書に『地方都市を公共空間から再生する』（学芸出版社）など。



星野 裕司

熊本大学准教授。1971年生まれ。博士（工学）。東京大学大学院修了後、（株）アプル総合計画事務所勤務を経て現職。2017年より岡山県奈義町グランドデザイン統括監。専門は景観デザイン、土木デザイン、風景論。主な受賞に土木学会論文奨励賞、2012年グッドデザイン・サステナブル・デザイン賞（曾木の滝分水路）、都市景観大賞（熊本駅周辺地区）など。



宮脇 勝

名古屋大学大学院准教授。1966年生まれ。博士（工学）。東京大学大学院修了後、千葉大学准教授を経て、現職。専門は都市計画、アーバンデザイン、景観計画、都市再生、まちづくり。主な受賞に2004年国土交通大臣賞、作品に柏の葉キャンパス駅周辺のアーバンデザイン、著書に『ランドスケープと都市デザイン-風景計画のこれから』（朝倉書店）など。

【拡大幹事会 プロフィール】



山口 敬太

京都大学大学院 准教授。1980年生まれ。博士（工学）。京都大学大学院修了後、同助教を経て、現職。専門は地域の風土・景観の解説と地域づくり（風土の持続再生学）。主な受賞に土木学会賞論文奨励賞、日本建築学会奨励賞、日本都市計画学会年間優秀論文賞など。



西村 亮彦

国土交通省国土技術政策総合研究所 社会資本マネジメント研究センター 研究官。1981年生まれ。博士（工学）。東京大学大学院修了後、2009年に渡墨、メキシコ国立自治大学建築学研究所・美学研究所で中南米の都市デザインを研究後、2014年より現職。専門は公共空間論、道路のデザイン・マネジメント、歴史まちづくり。



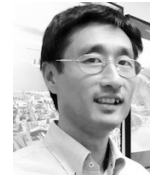
脇坂 隆一

国土交通省都市局公園緑地・景観課 緑地環境室 国際緑地環境対策官。1972年生まれ。1994年に東京大学農学部卒業、建設省入省後、景観政策に関わり、歴史まちづくり法（通称）の制定・施行を担当、東北地方整備局東北国営公園事務所所長を歴任。



福島 秀哉

東京大学大学院 助教。1981年生まれ。博士（工学）。東京大学大学院修了後、小野寺康都市設計事務所、（独）土木研究所寒地土木研究所などを経て、現職。岩手県大槌町復興計画をはじめ地域・都市再生に向けたインフラ・公共空間デザインに従事。専門は土木デザイン。



末 祐介

中央復建コンサルタンツ株式会社 総合政策グループ統括リーダー。1974年生まれ。京都大学大学院修了。1999年に同社入社後、都市と交通に関わるプロジェクトに関わる。2011年より宮城県女川町の復興事業に参画し、復興事業における土木デザインのコーディネーターとして従事。

中井 祐 （幹事長、東京大学教授）

出村 嘉史（岐阜大学准教授）

木村 優介（京都大学助教）

白柳 洋俊（愛媛大学助教）

アドバイザー：新屋 千樹（国土交通省）

【アクセス】

京都駅から市営地下鉄今出川駅まで10分、今出川駅から市営バス（201, 203, 102）で京大正門前もしくは百万遍下車
京阪電車 出町柳駅から徒歩15分

